

総務教育常任委員会資料

(令和7年11月21日)

〔 件 名 〕

ページ

- 知事会議等の活動状況について
【総合統括課】…2
- 第16回中海会議の開催結果について
【総合統括課】…3
- 「鳥取砂丘ハロウィンパーティーafterEXPO2025」の開催について
【広報課】…4
- 大阪・関西万博における本県の主な推進状況等について
【関西本部】…5

令和の改新戦略本部

知事会議等の活動状況について

令和7年11月21日
総 合 統 括 課

知事会議等の活動状況について報告します。

1 近畿ブロック知事会議

開催日 令和7年10月23日（木）（ホテルグランヴィア和歌山（和歌山県和歌山市））
出席者 中原副知事、宮崎和歌山県知事、齋藤兵庫県知事、杉本福井県知事、服部三重県副知事、東滋賀県副知事、鈴木京都府副知事、渡邊大阪府副知事、西村奈良県副知事、志田徳島県副知事
内 容 「これからの公立高校の在り方について」をテーマに意見交換を実施したほか、本県から提案した「誰もが働きやすい職場環境整備に向けた会計年度任用職員制度の見直し」を含む11項目について新規に国に提案することなどを確認した。

2 第182回関西広域連合委員会

開催日 令和7年10月23日（木）（ホテルグランヴィア和歌山（和歌山県和歌山市））
出席者 中原副知事、三日月連合長（滋賀県知事）、齋藤兵庫県知事、山下奈良県知事、宮崎和歌山県知事、各副委員（委員代理）等
内 容 令和8年度国の施策・予算に対する提案の実施について協議が行われたほか、大阪・関西万博に出展した関西パビリオンの状況（来館者実績・閉幕後の取組等）や、ドクターヘリの運航体制等について報告された。また、府県域を超えて地域の成長につながる施策を面的に展開する「広域リージョン連携」を推進するため、関西広域連合の各府県と経済界（関西経済連合会等）が一体となって、「関西広域リージョン連携宣言」を採択した。

3 岡山・鳥取両県知事会議

開催日 令和7年10月31日（金）（奥津振興センター（岡山県苫田郡鏡野町））
出席者 平井知事、伊原本岡山県知事
内 容 文化・芸術・歴史文化遺産等を通じた広域観光の促進、AI倫理・情報リテラシーを踏まえた業務効率化に資する自治体専用生成AI利用環境の共同研究、交通ネットワークの利用促進による維持・活性化と早期整備について意見交換を行うとともに、今後の連携について合意した。

4 山陰両県知事会議

開催日 令和7年11月17日（月）（ホテル白鳥（島根県松江市））
出席者 平井知事、丸山島根県知事
内 容 中海・宍道湖圏域を結ぶ「8の字ルート」の促進整備、若者や女性が働きやすい職場づくりの推進、広域観光連携の推進について意見交換を行うとともに、今後の連携について合意した。

5 日本海沿岸地帯振興連盟の秋の要望活動

実施日 令和7年10月29日（水）
出席者 【要望先】津島内閣府副大臣、上田国土交通大臣政務官、鈴木自由民主党幹事長
【要望者】平井知事、福田議長、新田富山県知事、永森富山県議会副議長、工藤秋田県議会議長、石原島根県副知事
内 容 本県を含む日本海側の12府県で構成する「日本海沿岸地帯振興連盟（代表世話人 新田富山県知事）」において、防災・減災、国土強靱化や大規模災害時におけるリダンダンシーの確保など、「日本海国土軸」の形成や「地方創生」の継承・推進に関する要望活動を実施した。津島副大臣からは「中央省庁の移転と民間企業の移転を進めていくという方針に変わりはない」、上田政務官からは「災害が広域的に激甚化しているため、道路関係の整備が必要」、鈴木幹事長からは「地方の課題解決のためインフラ整備を中心に対応していきたい」とする旨の発言があった。

第16回中海会議の開催結果について

令和7年11月21日
総合統括課
水環境保全課
河川課

中海に関する諸問題を協議検討する第16回中海会議を、以下のとおり開催しました。

- 1 日時 令和7年11月17日（月）午前10時30分から11時40分まで
- 2 場所 ホテル白鳥（松江市）3階 鳳凰の間
- 3 出席者 国土交通省中国地方整備局長、農林水産省中国四国農政局長、鳥取県知事、島根県知事、米子市長、境港市長、松江市長、安来市建設部参事
＜オブザーバー＞環境省中国四国地方環境事務所長、防衛省航空自衛隊美保基地司令

4 概要

（1）中海及び境水道の堤防、護岸等の整備について

○鳥取県側の短中期整備箇所の湖岸堤は令和7年度末の完了を目指し整備を進められており、引き続き中期整備箇所についても大橋川拡幅の前段階で湖岸堤を先行するという手順どおりに整備を行っていくことが報告された。

[主な意見]

- ・湖岸堤の中期整備箇所の早期完了、気候変動による湖岸堤整備への影響の検証、樋門操作の省力化を求める意見があり、引き続き国土交通省において取り組むこととされた。

○中海の水質浄化に寄与することを期待し、大橋川改修で発生する掘削残土を活用して、中海の窪地の一部の埋め戻し（安来市黒井田町油壺鼻沖）を、初めて計画していることが報告された。

[主な意見]

- ・窪地の埋め戻し前後における水質浄化の効果について検証を求める意見があり、国土交通省においても、専門家の意見を聞きながら検証を行うことが確認された。また、干拓事業に伴う土砂掘削により窪地が出来たという経緯を踏まえ、その他の窪地についても埋め戻しを検討するよう、国に対して求めた。

（2）中海の水質及び流動について

○令和6年度の水質の状況、中海の水質改善に向けた流入負荷・湖内対策に関する研究結果が報告された。

○中海の水質は長期的には改善傾向にあり、多くの環境基準点で第8期湖沼水質保全計画の水質目標値は達成しているものの、未だ環境基準の達成には至っていないため、引き続き各種水質保全対策に取り組んでいくことが報告された。

[主な意見]

- ・水質の目標値の達成を目指すだけでなく、豊かな中海を実現することも追求すべきという意見があった。今後も、継続的に水質調査を実施するとともに、豊かな中海が実感できるようにワイズユースや生物多様性の保全を図り、「水質目標値の達成」と「豊かな中海の実感」の両方を目指していくこととされた。「豊かな中海の実感」の指標として、透明度が分かりやすいという意見もあった。
- ・豊かな中海という観点で、「藻場の造成を進めると魚が増え、豊かな生態系となることで市民が喜ぶ」という意見や、「20年ぶりにコハクチョウの飛来が1,000羽を超える等、水辺空間に生物が戻ってきていることから、さらなる浅場造成を求める」という意見があった。

（参考）中海会議とは

平成21年12月19日に締結した鳥取、島根両県知事の「協定書」を踏まえ、沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、新たに中海の水に関する諸問題を協議検討するため設置（平成22年4月22日）した会議。

※各部会（中海湖岸堤等整備に係る調整会議、中海の水質及び流動会議）において、個別課題の検討・調整を行っている。

「鳥取砂丘ハロウィンパーティー after EXP02025」の開催について

令和7年11月21日
広報課

本県には広くて安全な写真映えする仮装スポットが多くあることから、多くの県内外の方々にハロウィンを楽しんでいただくことで本県の認知度・好感度を向上させ誘客促進を図る「とっとりハロウィン聖地化プロジェクト」に昨年度から取り組んでいます。

今年度は「トリックオアットリート～万博ロスは鳥取で～」をテーマに、万博ロスの方にも楽しんでいただけるハロウィンイベントとして「鳥取砂丘ハロウィンパーティー after EXP02025」を開催し、県内外に本県の魅力を発信しましたので、その概要を報告します。

- 1 日時 令和7年10月26日（日）午後0時30分～午後4時
- 2 場所 鳥取砂丘周辺
- 3 参加者数 県内外から約2,800人（うち県外約1,300人）
- 4 概要

○鳥取砂丘大仮装パレード

- ・スタート地点でとっとりふるさと大使のポケモン「サンド」と「アローラサンド」がパレードを見送り
- ・パレードゴール地点で「ミャクミャク」が登場し、感砂状（感謝状）を授与
- ・鳥取ハロウィン楽しみ大使のAKB48の徳永鈴海さん、永野芹佳さんが選ぶ「ベスト仮装大賞」の表彰式を実施

○鳥取砂丘周辺で楽しめる2種類のスタンプラリー（10月1日～26日）

○プロカメラマンから撮影手法を学ぶフォトツアー

○とっとりふるさと大使のポケモン「サンド」「アローラサンド」の撮影会

5 参加者の声

- ・鳥取砂丘は広くて安全で、小さな子どもも思いっきり楽しむことができてうれしい。
- ・広大な鳥取砂丘は絶好の写真映えスポットなので良い写真が撮れた。
- ・ミャクミャクにも会え、万博ロスが鳥取で癒された。

6 露出状況

TV20件、新聞27件、WEB816件 広告換算額 13.2億円

（例：おはよう日本、ミヤネ屋、大下容子ワイド！スクランブル、FNN Live News days）



<参考1：「鳥取ハロウィン楽しみ大使」就任発表会>

「鳥取砂丘ハロウィンパーティー」開催を全国へ発信していくため、イベントに先立ってAKB48の徳永鈴海さん（鳥取県出身）、永野芹佳さん（大阪府出身）の「鳥取ハロウィン楽しみ大使」就任発表会を実施した。

- （1）日時 令和7年10月22日（水）午前10時40分～11時10分
- （2）場所 都道府県会館3階301会議室



<参考2：とっとりハロウィンワールドの実施>

- （1）期間 令和7年10月1日（水）～31日（金）
- （2）内容 鳥取砂丘をハロウィンワールドとし、「鳥取砂丘ハロウィンパーティー」の開催を軸として、砂丘周辺施設等13施設が仮装しての接客や店内装飾など一体となった話題づくりや盛り上げに取り組んだ。

大阪・関西万博における本県の主な推進状況等について

令和7年11月21日
関 西 本 部

先月13日に閉幕した大阪・関西万博における本県の主な推進状況等について報告します。

1 関西パビリオン・鳥取県ゾーンの状況

- ・鳥取県ゾーン来場者数 463,110 人（4/13～10/13）
（平均来場者数：約 2,517 人／日）
- ・鳥取県関係来場者累計 583,246 人
（鳥取県ゾーン及びとっとりフェス等の鳥取県イベントの累計）
- ・「砂丘（サンキュー）！砂要る（スマイル）？特別プレゼント!!」企画
（先着 10,000 人・9/20～28）の追加として、鳥取県ゾーンの砂を詰めた袋を関西パビリオン内外で来場者 10,000 人に配布した。（10/11～13）



閉幕日（10/13）関西パビリオンの様子

2 情報発信拠点「まんが王国とっとり ええもん売ってマンガな」の開設

アフター万博のPRを強化するため、万博閉幕直後に大阪市内に「まんが王国とっとり」の発信や特産品の常設販売等を行う情報発信拠点を開設した。

- （1）開設日：令和7年10月14日（火）
- （2）場 所：リーベルホテル大阪1階
- （3）内容等：・梨・柿等の県産品や万博会場でも人気のあったまんが関連グッズなどの販売
・「まんが王国とっとり」を代表するキャラクターと一緒に記念撮影できる展示
・鳥取・ヨルダンの砂の展示など「サンド・アライアンス」の取組の紹介や観光PRコーナー等を設置 等



3 ヨルダン館政府代表代行との面談等の実施

平井知事が万博を契機としたヨルダン館との友好交流に関する感謝の意をシファ政府代表代行に伝えとともに、万博レガシーの活用等に関する意見交換及び覚書の署名を行った。

- （1）日 時：令和7年11月7日（金） 午後6時30分～45分
- （2）場 所：ホテルモナーク鳥取 砂丘の間
- （3）内容等：万博で両者が結んだ交流の証として、ワディ・ラムの砂等を県内観光施設やイベント等で展示し、活用するなど、サンド・アライアンスの精神に則り、文化、観光、自然環境の発信に協力する。



4 ヨルダンの砂等万博レガシーの活用

万博レガシーとして、鳥取県ゾーンのほか、ヨルダン館の砂（ワディ・ラムの砂）などサンド・アライアンス加盟パビリオンの展示物等を県内観光施設等で活用する。

- ・夢みなとタワー3階「環日本海諸国展示」の一部スペースを活用し、万博での本県の取組等を紹介する「サンド・アライアンス交流記念エリア（仮称）」を設置。（令和8年1月頃予定）
- ・同エリア設置に先立ち、今月23日（日）から1階ロビーに「ヨルダンの砂体験コーナー」を設置し、来館者に砂の感触を楽しんでいただく。
- ・アイエム電子鳥取砂丘こどもの国に鳥取県ゾーンやヨルダン館の砂を活用し、ワークショップや砂で遊ぶコーナーを設置する。（年内）

5 「アフター万博砂ンブラリー」スタート

万博公式スタンプを閉幕後も鳥取砂丘ビジターセンターに継続設置し、引き続き県内への誘客を促進する。今月1日（土）からは関西パビリオン鳥取県ゾーンのスタンプ及びヨルダン館のスタンプも設置し、県内周遊を促進する。

- （1）期 間：令和7年11月1日（土）～令和8年3月31日（火）
- （2）スタンプの設置場所と種類

設置場所		スタンプの種類
鳥取砂丘ビジターセンター	（継続）	関西パビリオン・サテライト会場スタンプ
倉吉白壁土蔵群観光案内所	（新規）	関西パビリオン・鳥取県ゾーンスタンプ
夢みなとタワー	（新規）	ヨルダン館スタンプ

- （3）記念台紙とコンプリート賞

万博公式スタンプパスポートをお持ちでない方にも楽しんでいただくため、旅の思い出として持ち帰れるハガキサイズの鳥取県オリジナル記念台紙を作成し、配付している。

さらに、今月23日（日）から記念台紙に3ヶ所のスタンプを集めた方には、「砂丘×ミャクミャク」缶バッジまたは「まんが王国とっとり しおり」を各スタンプ設置場所でプレゼントする。